

学会便り 第137回秋期大会報告

## 第27回「女性会員の会」報告

### The 27th women's meeting of Japan Institute of Light Metals

上田 薫

Kaoru UEDA

第137回秋期講演大会中、東京農工大学 小金井キャンパスで、11月2日(土)12:10~13:10入退室自由の、第27回女性会員の会を開催しました。参加者は合計27名(女性18名、男性9名)。男女共同参画セッションの効果か、男性の参加者が過去最多となりました。いつもと同様、お弁当とお菓子をいただきながら、楽しく懇談しました。お菓子：メープルバタークッキー、スティックワッフル、塩せんべい、北海道美瑛ミルクサンド(担当：世話人)。期間限定アルフォート&エリーゼ(差入：寺田佳織さん)、松崎煎餅(差入：内川美和さん)、Jagabee手羽先味(差入：上田 薫)

懇親会時間帯を含む、学会託児室利用者が1名あり、安心して預けられて、とても良かったと感想をいただきました。本会は、ごく・ごく若い未来の研究者の参加も大歓迎します！また、学会託児室利用の無料化に向け、検討を続けます。

#### [自己紹介：氏名・所属・専門・近況(無意識のバイアス)]

次に向け、無意識のバイアスへの質問を会場で実施しました。

#### 近況報告：

- M2学生、ドクター進学を決めました！
- M2学生、このような会は初めて。皆さんの話を聞きたい。
- 今回も学会発表します。少しドキドキしています。
- 新設女性枠で、複数の国の委員会に出席した。視野が広がり、公私ともに大変よい経験になっている。
- 産学協同体制で色々な仕事が増えて、今すごく忙しい。
- 働き方改革などは、継続が大事なので、本会のように定期開催できるのは非常によい。
- 研究職から離れ、管理職になった。少し寂しい。
- 留学生に対し、評価を甘くする必要はないと思う。日本人学生と同じように扱って欲しい。
- 男女の別なく、目標に近い成果を出した人を評価してきた。
- 遠距離結婚の場合、3年間休業できる会社の制度を利用して休職中。若手リケジョの支援を計画中。
- 同社の担当者から、女性が本当に望む制度を作るのは、まだまだ難しいと発言あり。
- 育休から戻り6か月。落ち着いてきたが、生活と仕事の両立が課題。
- 実際の女性活躍は、娘たちの状況を見るとまだ遠いと感じる。
- 単身赴任開始、家族に文句を言われたいよう頑張っている。

○1年間の単身赴任から戻った。子どもも成長し、育児の役割分担が変わった。

○6年前、学会託児室を利用した。その子どもが小6になった。

○上司が自分を紹介するときに、基幹職の…と紹介するのを、なんだか…と思う。無意識のバイアスの例。

○女性の多い部門にいる。初めは男性と言葉遣いが異なるのに戸惑ったが、2年目からは慣れて、今問題はまったくない。

○女性が活躍できる地域として、富山県をすすめます！

○男女共同参画委員会では、女性委員の発言が多くて、事案が次々に決まり、活発なことに大変驚いた。

○留学生、無意識のバイアスは、男女だけでなく国籍でも感じる時があり、なんとなくモヤモヤします。本当によい場合にだけ、高く評価して欲しいです。皆さん遠慮しないで下さい！

最後に、大会実行委員長の桑原利彦先生はじめ、大会実行委員の皆様のご配慮と、力強い応援会員の皆様に改めて感謝いたします。

世話人：関 史江、小原美良、大島智子、上田 薫



第27回女性会員の会(撮影 古塩 健 委員)



第137回講演大会懇親会(撮影 古塩 健 委員)